2026年度 第7回（12月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

社会

1　問1（A）（2点）

ユーラシア大陸

解説: アジア州とヨーロッパ州は一つの陸地でつながっており、あわせて**ユーラシア大陸**とよばれる。六大陸（ユーラシア・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オーストラリア・南極）のなかで最大である。

採点ポイント: 「大陸」まで書く。「ユーラシア」だけは不可。

1　問1（B）（2点）

南極大陸

解説: 南極点をふくむ大陸が**南極大陸**で、ほぼ全体が氷（氷床）におおわれている。定住する人はおらず、日本の昭和基地をはじめ、各国が観測基地を置いて研究を行っている。南極条約により、軍事利用や領有権の主張が凍結されている。

採点ポイント: 「大陸」まで書く。「南極」だけは不可。

1　問2（3点）

イ

解説: 東京は東経135度、ニューヨークは西経75度なので、経度の差は135＋75＝**210度**。地球は24時間で360度回転するので、経度15度で1時間の**時差**が生じる。210÷15＝**14時間**。ニューヨークは東京より西にあるので、時刻は14時間おくれている（東京より14時間前の時刻になる）。12月20日午前10時の14時間前は、**12月19日午後8時**。

ア：東京より10時間進めてしまったもの。
ウ：東経と西経を足さず、135−75＝60度として、東京より4時間おくれていると考えたもの。
エ：14時間を引かずに足したもの。

採点ポイント: 東経と西経の組み合わせは「足す」、東経どうしは「引く」。西へ行くほど時刻はおそい。

1　問3（3点）

エ

解説:
Ⅰ：1年を通して降水量がきわめて少なく、夏の気温は35℃を超える → **乾燥帯**（リヤド）。
Ⅱ：1年を通して気温が高く（約26〜28℃）、降水量も多い → **熱帯**（シンガポール）。
Ⅲ：夏は高温で降水量が少なく、冬に降水量がふえる → **地中海性気候**（ローマ）。

雨温図は、①気温が一年中高いか、②降水量が極端に少ないか、③夏と冬のどちらに雨が多いか、の順に見ると区別しやすい。

採点ポイント: 降水量の「少なさ」と「雨の降る季節」で判断する。

1　問4（3点）

ウ

解説: 西アジアに多いのは**イスラム教**。信者は、聖地メッカの方角に向かって1日5回礼拝し、豚肉を食べず、酒を飲まないなどのきまりを守る。ラマダン（断食月）には、日の出から日没まで飲食をしない。

ア：ヒンドゥー教（インドに多い）の説明。
イ：ラマダンはイスラム教の行事。キリスト教徒は日曜日に教会に集まる点だけが正しい。
エ：仏教には聖典コーランはない（コーランはイスラム教の聖典）。

採点ポイント: 宗教ごとに「聖地・聖典・食のきまり」をセットで覚える。

1　問5（3点）

モノカルチャー経済

解説: ナイジェリアでは、輸出額の約8割を原油がしめている。このように、特定の鉱産資源や農作物の輸出にたよる経済を**モノカルチャー経済**という。輸出品の国際価格が下がると国の収入が大きく減り、経済が不安定になりやすい。原油のほか、ザンビアの銅、コートジボワールやガーナのカカオ豆などがその例。

採点ポイント:「モノカルチャー経済」と書けていれば正解。「モノカルチャー」だけでは不可。

1　問6（A）（2点）

ヒスパニック

解説: メキシコ、中央アメリカ、カリブ海の国々などから移り住んだ、スペイン語を話す人々を**ヒスパニック**という。アメリカ合衆国の南部（テキサス州・カリフォルニア州など）に多く、人口の約5分の1をしめる。

採点ポイント: カタカナ指定。「ヒスパニック」と正確に書く。

1　問6（B）（2点）

バイオ燃料（バイオエタノール可）

解説: さとうきびやとうもろこしなどの植物を原料とする燃料を**バイオ燃料**（バイオエタノール）という。ブラジルでは、さとうきびからつくったバイオエタノールを、ガソリンに混ぜたり、そのまま自動車の燃料にしたりしている。燃やしても、植物が成長するときに吸収した二酸化炭素が出るだけなので、地球温暖化対策として注目されている。

採点ポイント:「バイオ燃料」と書けていれば正解。「バイオエタノール」も正解とする。

2　問1（3点）

エ

解説: 三陸海岸の南部は、山地が海にしずんでできた、出入りの多い**リアス海岸**。入り江は波がおだやかで、養殖業がさかん。三陸沖には、暖流（黒潮）と寒流（親潮）がぶつかる**潮目**（潮境）があり、プランクトンが多く、魚が集まるため好漁場になっている。

砂浜海岸：九十九里浜のようになだらかな海岸。
大陸棚：水深200mぐらいまでの浅い海底。潮目とは別のもの。

採点ポイント:「リアス海岸＝出入りの多い海岸」「潮目＝暖流と寒流がぶつかるところ」。

2　問2（3点）

イ

解説: 九州南部の火山灰が積もった台地は**シラス台地**。水もちが悪いため、畑作や畜産（肉牛・豚・ブロイラー）がさかん。長野県の野辺山原などの高原で、夏の涼しい気候を利用して出荷をおくらせる栽培方法は**抑制栽培**で、レタスやキャベツなどの**高原野菜**が大都市へ出荷される。

関東ローム：関東平野に広がる、火山灰が積もった赤土。
促成栽培：暖かい気候を生かして出荷を早める栽培（宮崎平野・高知平野）。

採点ポイント:「促成＝早める」「抑制＝おそくする」。

2　問3（5点）

北西の季節風が日本海から水蒸気をふくんで秋田市に雪を降らせ、奥羽山脈をこえた風は乾いているため、仙台市ではあまり降らないから。

解説: 冬は大陸から**北西の季節風**がふき、日本海をわたるときに水蒸気をふくむ。この湿った風が、日本海側の秋田市などに雪を多く降らせる（**日本海側の気候**）。風が東北地方の中央を南北にはしる**奥羽山脈**をこえるころには水分を失って乾いた風になるため、太平洋側の仙台市では冬の降水量が少なく、晴れの日が多い。

採点ポイント（5点満点）:
2点：北西の季節風が日本海の水蒸気をふくんで秋田市（日本海側）に雪を降らせること（「北西の季節風」を含む）
2点：奥羽山脈をこえて乾いた風となり、仙台市（太平洋側）では降水量が少ないこと（「奥羽山脈」を含む）
1点：2つの市の降水量の差と結びつけて文がまとまっている

2　問4（3点）

ウ

解説: 都市の中心部の気温が周辺より島のように高くなる現象を**ヒートアイランド現象**という。排熱、アスファルトの蓄熱、緑地の少なさが原因。また、大都市の郊外に計画的につくられた大規模な住宅団地を**ニュータウン**といい、多摩ニュータウン（東京都）や千里ニュータウン（大阪府）などがある。

フェーン現象：山をこえた風が高温で乾燥する現象。
副都心：新宿・渋谷・池袋など、都心の機能を分担する地区。

採点ポイント: 「ヒートアイランド＝都市の高温化」「ニュータウン＝郊外の計画的な住宅地」。

2　問5（3点）

南部鉄器

解説: 岩手県の盛岡市・奥州市で作られる、鉄びんや鉄なべなどの鉄製品が**南部鉄器**。江戸時代に盛岡を治めた南部氏のもとで発展した。東北地方には、ほかに津軽塗（青森県）、曲げわっぱ（秋田県）、天童将棋駒（山形県）などの伝統的工芸品がある。

採点ポイント: 漢字4字指定。「南部」の字を正確に。

2　問6（3点）

エ

解説: 地形図は、上が北。田の地図記号（二本の縦線）は、桜町駅の左下（南西）に広がっている。

ア：桜町駅の北東にある卍は**寺院**の地図記号。神社は鳥居の記号。
イ：駅の北にある×は**交番**の地図記号。警察署は⊗。
ウ：駅の東の平地に広がっているのは**畑**の地図記号（∨）。果樹園（○に短い線）は北東の丘の斜面にある。

採点ポイント: 方位は「上が北」。基本的な地図記号（田・畑・果樹園・寺院・交番・郵便局・学校）は正確に覚える。

3　問1（3点）

ア

解説: 645年に始まった、公地・公民をめざす政治改革が**大化の改新**。のち、律令にもとづく国家のしくみが整えられた。律令国家では、戸籍に登録された6歳以上の人々に**口分田**があたえられ、収穫量の約3％の稲を租として納めさせた。

壬申の乱：672年、天智天皇の死後におきた、皇位をめぐる争い。
荘園：貴族や寺社の私有地。

採点ポイント: 「大化の改新＝645年・公地公民」「口分田＝6歳以上に与えられた田」。

3　問2（3点）

最澄

解説: 平安時代の初め、唐にわたって学んだ**最澄**は、帰国後に**天台宗**を伝え、比叡山に延暦寺を建てた。同じころ、**空海**は**真言宗**を伝え、高野山に金剛峯寺を建てた。

採点ポイント: 漢字2字指定。「空海」と取り違えない（空海＝真言宗・高野山）。

3　問3（3点）

イ

解説: 鎌倉幕府では、源氏の将軍が3代で絶えたのち、将軍を助ける役職の**執権**に北条氏がつき、政治の実権をにぎった（執権政治）。この時代には、武士の気風を反映した力強い**鎌倉文化**が生まれ、東大寺南大門の**金剛力士像**（運慶・快慶ら）が代表作。『平家物語』『新古今和歌集』『徒然草』なども鎌倉時代の作品。

管領：室町幕府で将軍を助けた役職。
国風文化：平安時代の貴族の文化。

採点ポイント: 「執権＝鎌倉」「管領＝室町」の対応を覚える。

3　問4（3点）

ウ

解説: 荘園や公領には、幕府が**地頭**を置き、年貢の取り立てや治安の維持にあたらせた。資料では、阿氐河荘の農民が、地頭に木材運びなどの仕事を強制され、麦まきなどの農作業や荘園領主への年貢の納入に支障が出ていると訴えている。地頭が荘園領主や農民と対立する例が多かったことがわかる。

ア：地頭は農民に無理な要求をしており、資料と合わない。
イ：農民が荘園領主に訴えたのが資料であり、訴えが許されていないとはいえない。
エ：地頭に、荘園領主から土地を取り上げて農民に分ける権限はない。

採点ポイント: 地頭＝幕府が荘園・公領に置いた役職。荘園領主（貴族・寺社）とのあいだで対立が起こった。

3　問5（3点）

ウ

解説: 織田信長は、安土城下で**楽市・楽座**を出し、市の税を免除し、座の特権をなくして自由な商売を認め、商工業を発展させた。江戸時代、老中の田沼意次は、商人の同業者組合である**株仲間**を公認し、営業税（運上・冥加）を納めさせて幕府の収入を増やそうとした。

座：中世の商工業者の同業者組合（特権をもつ）。
太閤検地：豊臣秀吉が行った全国的な土地の調査。

採点ポイント: 「楽市・楽座＝信長」「株仲間＝田沼意次」。

3　問6（2点）

化政文化

解説: 19世紀前半の文化・文政年間を中心に、江戸の町人を中心として栄えた文化を**化政文化**という。葛飾北斎の『富嶽三十六景』、歌川広重の『東海道五十三次』などの浮世絵、十返舎一九の『東海道中膝栗毛』、曲亭馬琴の『南総里見八犬伝』などが生まれた。

採点ポイント: 漢字4字指定。「元禄文化」（17世紀末〜18世紀初め・上方中心）と取り違えない。

4　問1（4点）

ア・ウ・エ

解説:
ア（正）：1868年から翌年にかけて、新政府軍と旧幕府軍が戦った**戊辰戦争**は、新政府軍の勝利に終わった。
イ（誤）：**地租改正**では、税は収穫高に応じた米での納入から、地価に応じた現金での納入に改められた。
ウ（正）：地租改正で、土地の所有者に**地券**が発行され、地価の3％を現金で納めさせた。
エ（正）：1875年の江華島事件をきっかけに、1876年に**日朝修好条規**を結び、日本は朝鮮に不平等な条約を認めさせた。
オ（誤）：戊辰戦争では、薩摩藩・長州藩を中心とする軍は新政府軍の側で戦った。

採点ポイント: 3つすべて選べて正解（一部だけ選んだ場合は不正解）。地租改正は「地価の3％・現金・地券」をセットで覚える。

4　問2（3点）

陸奥宗光

解説: 1894年、外務大臣の**陸奥宗光**は、イギリスとの間で日英通商航海条約を結び、**領事裁判権（治外法権）の撤廃**に成功した。この条約の直後、日清戦争が始まった。関税自主権の回復は、1911年に外務大臣の**小村寿太郎**がアメリカとの交渉で実現した。

採点ポイント: 漢字4字指定。「陸奥」の字を正確に。「小村寿太郎」と取り違えない（小村＝関税自主権の回復）。

4　問3（4点）

イ

解説: ③**下関条約**（1895年。日清戦争の講和条約）→ ①**ポーツマス条約**（1905年。日露戦争の講和条約）→ ④**シベリア出兵**（1918年。ロシア革命への干渉）→ ②**盧溝橋事件**（1937年。日中戦争の始まり）の順。

ポーツマス条約では、日本は韓国での優越権、樺太（サハリン）の南半分などを得たが、賠償金は得られず、国民の不満が高まった。

採点ポイント: 日清戦争（下関）→日露戦争（ポーツマス）→第一次世界大戦末期（シベリア出兵）→日中戦争（盧溝橋事件）の流れで覚える。

4　問4（3点）

エ

解説: 1890年の最初の総選挙では、選挙権は直接国税15円以上を納める満25歳以上の男子だけにあった。1925年の**普通選挙法**で、納税額による制限がなくなり、**満25歳以上のすべての男子**に選挙権があたえられた。第二次世界大戦後の1945年の改正で、**満20歳以上の男女**に選挙権が拡大し、女性の参政権がはじめて認められた（2016年からは満18歳以上）。

採点ポイント:「1925＝満25歳以上の男子」「1945＝満20歳以上の男女」の組み合わせ。

4　問5（3点）

石油危機

解説: 1973年の第四次中東戦争をきっかけに、アラブの産油国が石油の価格を大幅に引き上げ、輸出を制限した。世界の経済が混乱し、日本でも物価が急上昇して**石油危機**（オイル・ショック）とよばれた。この影響で、1950年代後半から続いた高度経済成長が終わり、日本経済は安定成長に入った。

採点ポイント: 漢字4字指定。「オイルショック」はカタカナなので不可（漢字4字で答える）。

5　問1（4点）

衆議院は参議院より任期が短く、解散もあるため、国民の意思をより強く反映していると考えられるから。

解説: 衆議院の任期は4年で、任期の途中でも解散がある。参議院の任期は6年で解散がなく、3年ごとに半数が改選される。衆議院は任期が短く解散もあるため、国民の意思をより強く反映していると考えられ、法律案の議決（参議院が否決しても衆議院が出席議員の3分の2以上で再可決すれば成立）、予算の議決、条約の承認、内閣総理大臣の指名などで**衆議院の優越**が認められている。

採点ポイント（4点満点）:
2点：衆議院は参議院より任期が短い（「任期」を含む）
1点：衆議院には解散がある（「解散」を含む）
1点：国民の意思をより強く反映している、という結び

5　問2（3点）

ア

解説: 権力を立法（国会）・行政（内閣）・司法（裁判所）に分け、たがいに抑制し合うしくみが**三権分立**。裁判所は、法律・命令・規則・処分が憲法に違反していないかを審査する**違憲審査権**（違憲立法審査権）をもつ。最高裁判所は終審裁判所として最終的な判断を下すため、「憲法の番人」とよばれる。

二院制：国会が衆議院と参議院の二つの議院からなるしくみ。
国政調査権：国会が、証人喚問などで国の政治を調査する権限。

採点ポイント:「三権分立＝権力の分担」「違憲審査権＝裁判所が憲法違反を判断」。

5　問3（3点）

イ

解説: 生存権・教育を受ける権利・勤労の権利・労働基本権（団結権・団体交渉権・団体行動権）は**社会権**で、人間らしい生活を国に保障させる権利。憲法に直接の規定はないが、社会の変化にともない主張されるようになった環境権、プライバシーの権利、知る権利、自己決定権などは**新しい人権**とよばれる。

自由権：国家から自由であることを保障する権利（精神の自由・身体の自由・経済活動の自由）。
平等権：差別されない権利。

採点ポイント:「社会権＝国に求める権利」「新しい人権＝環境権・プライバシーの権利など」。

5　問4（3点）

ウ

解説: ものごとを決めるときは、**効率**（時間・費用・労力などをむだなく使い、より大きな成果を得ること）と**公正**（手続きや機会、結果が、不当に偏っていないこと）の二つの視点から考える。効率だけを重視すると一部の人に不利益が出るおそれがあり、公正だけを重視すると時間や費用がかかりすぎることがある。

採点ポイント:「効率＝むだなく」「公正＝不当に不利になる人がいない」。両方の視点でバランスを考えることがポイント。

5　問5（3点）

エ

解説: 夫婦のみ、夫婦と未婚の子ども、ひとり親と未婚の子どもからなる世帯を**核家族**世帯といい、日本の世帯のなかで最も多い。また、出生率が低下して子どもの数が減る一方で、平均寿命ののびで高齢者の割合が高まる現象を**少子高齢化**という。社会保障の費用の増加や、働き手の減少などが課題となっている。

三世代世帯：親・子・孫がいっしょに暮らす世帯。
過疎化：農村部などで人口が急に減る現象。

採点ポイント:「核家族＝夫婦と未婚の子など」「少子高齢化＝子どもが減り高齢者が増える」。

5　問6（2点）

メディアリテラシー

解説: 情報を正しく読み取り、批判的に判断し、活用する力を**メディアリテラシー**という。インターネットやSNSには、不確かな情報やデマも多いため、情報の発信元や根拠、ほかの情報との照らし合わせなどを確かめることが大切。

採点ポイント: カタカナ指定。「リテラシー」だけは不可。

6　問1（3点）

ア

解説: 秀吉は、1588年に刀狩令を出して百姓から武器を取り上げ、検地とあわせて武士と百姓の身分の区別をはっきりさせた。これを**兵農分離**という。秀吉の時代には、大名や豪商の気風を反映した豪華で雄大な**桃山文化**が栄えた。城の天守、狩野永徳の濃絵（唐獅子図屏風など）、千利休が大成したわび茶などが代表。

太閤検地：全国の土地を同じ基準で調べ、収穫高を石高で表した調査。検地は兵農分離を進めた政策だが、土地の調査の名称であり、「身分の区別をはっきりさせること」にあたる語ではない。
元禄文化：17世紀末〜18世紀初め、上方（大阪・京都）の町人を中心に栄えた文化。

採点ポイント: 「刀狩→兵農分離」「豪華で雄大な文化→桃山文化」。

6　問2（3点）

アジア州

解説: 米は、高温で降水量が多い地域で育ちやすく、季節風（モンスーン）の影響を受けるアジア州で多く生産されている。米の生産上位国は、中国、インド、バングラデシュ、インドネシア、ベトナムなどで、すべて**アジア州**の国。人口が多く米を主食とする国が多いため、生産された米の多くは自国で消費される。

採点ポイント: 「アジア州」または「アジア」で正解。

6　問3（2点）

アフリカ大陸

解説: エジプト、ケニア、ナイジェリアなどの国々があるのは**アフリカ大陸**。北部にサハラ砂漠、中央部に熱帯雨林、東部に高原、南部にサバナが広がる。多くの国がかつてヨーロッパ諸国の植民地だったため、国境線が直線的になっている。

採点ポイント: 「大陸」まで書く。「アフリカ」だけは不可。